

AOI TYO Holdings

2021年12月期 第2四半期

決算説明資料

2021年8月

AOI TYO Holdings株式会社

目次

1. 連結決算概要
2. 株式併合について

1. 連結決算概要

連結決算ハイライト

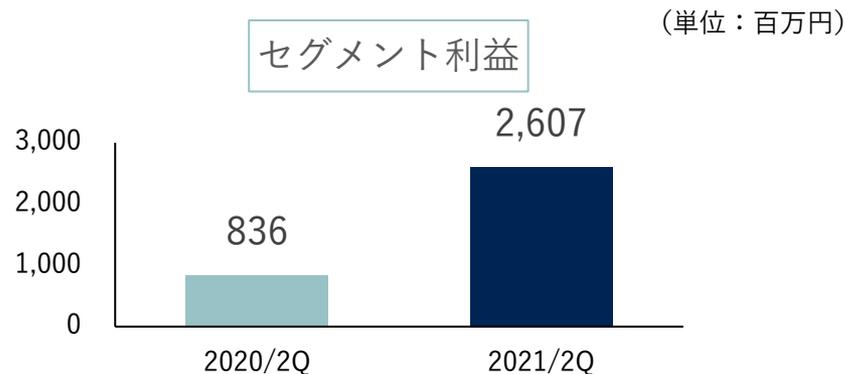
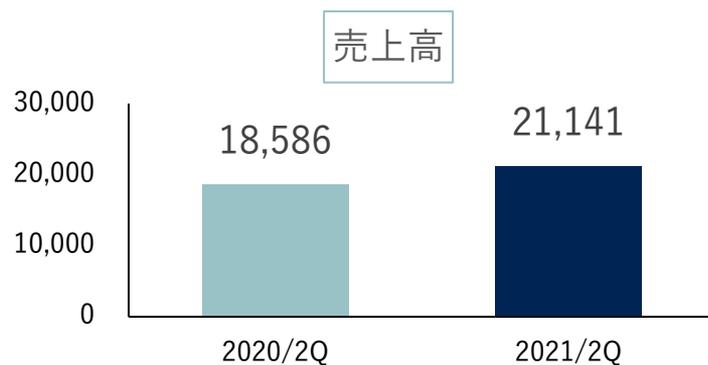
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上での業務運営が定常化、業績面での大きな影響は受けず
- 国内広告市場の緩やかな回復等に伴い、売上高が増加
- 中期経営計画に掲げたコスト削減施策にも前倒しで取り組み、各段階利益も増加

単位：百万円	2019年12月期 2Q	2020年12月期 2Q	2021年12月期 2Q	前期比
売上高	30,636	24,367	29,025	+4,657
営業利益	816	△ 881	1,686	+2,568
経常利益	637	△ 1,047	1,668	+2,716
親会社株主に帰属する 四半期純利益	257	△ 956	891	+1,847
EBITDA	1,531	△ 313	2,120	+2,434

セグメント別業績① - コンテンツプロデュース事業

国内外における広告映像制作、ポストプロダクション事業、xRコンテンツの企画制作等、幅広いコンテンツ制作を手掛ける

- 売上高は、CM制作をはじめとする広告会社からの案件受注の回復、前年同四半期は新型コロナウイルスの影響による案件の延期・中止があったこと、等により増加
- セグメント利益は、売上高の増加に加え、コスト削減施策推進に伴う各種費用の減少等もあり、大きく増加

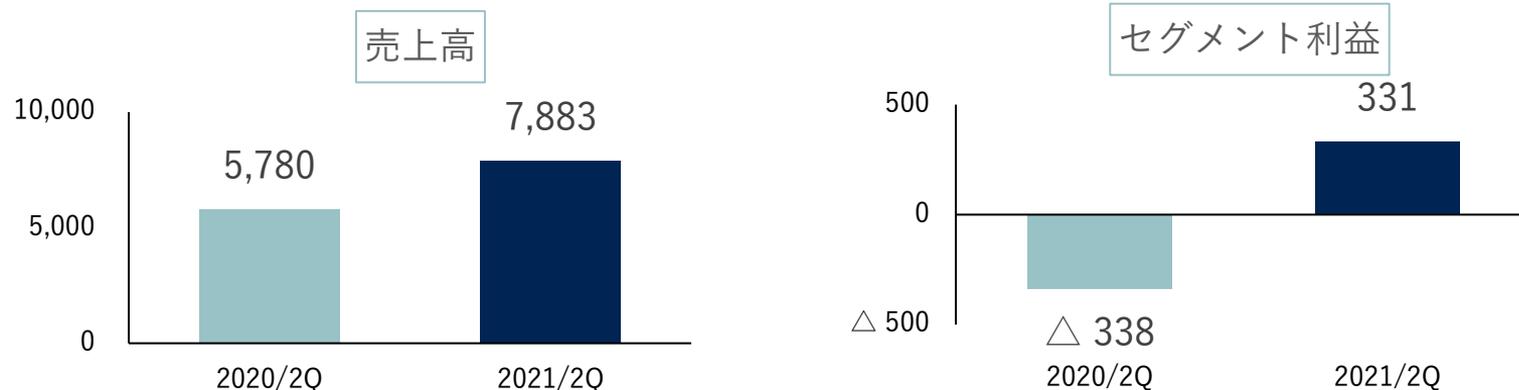


セグメント別業績② - コミュニケーションデザイン事業

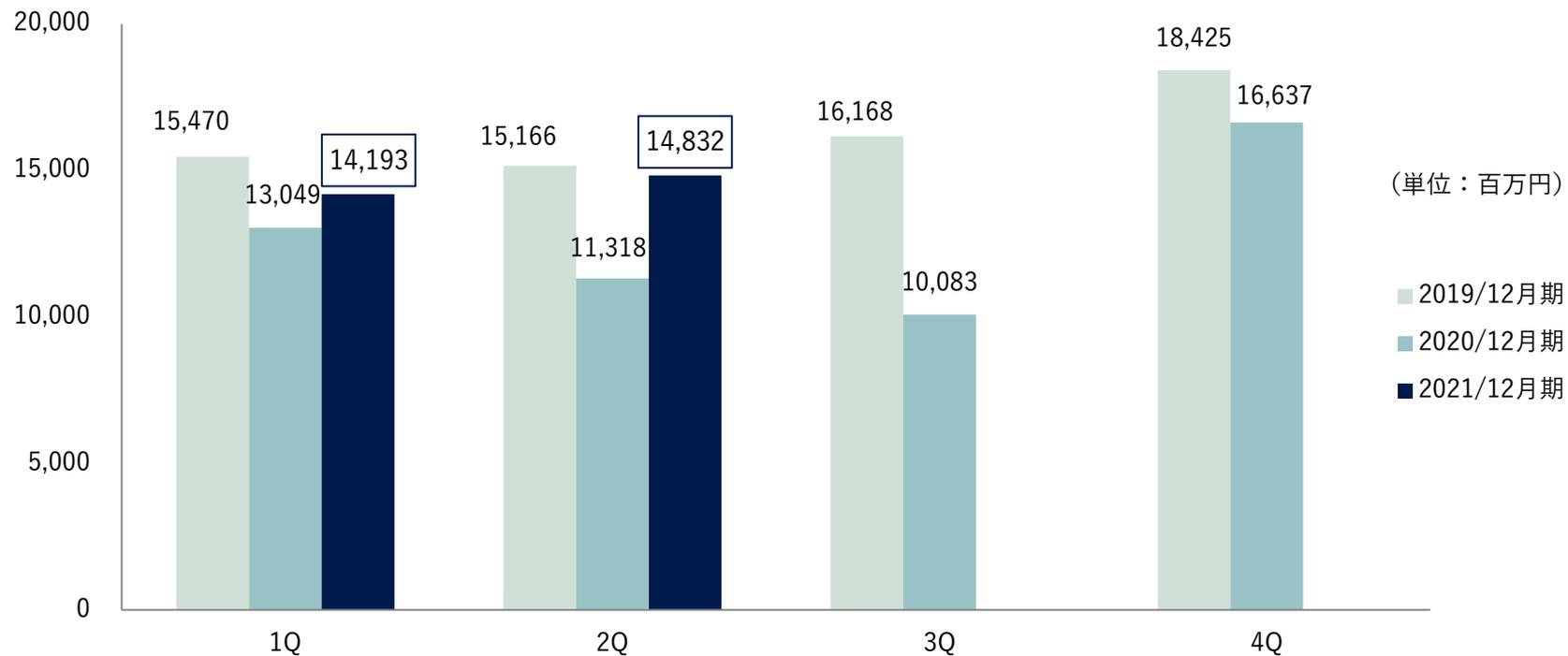
広告・マーケティングソリューション領域において、映像からデジタルソリューション、PR、イベント、空間デザイン等、全方位型のエグゼキューションを提供

- 本年1月に5社を統合し株式会社xpdを設立、注力している直接取引において受注額が増加
- 前年同四半期において延期・中止が顕著であったイベント事業も、オンラインの活用等で需要を戻しつつあり、増収増益

(単位：百万円)

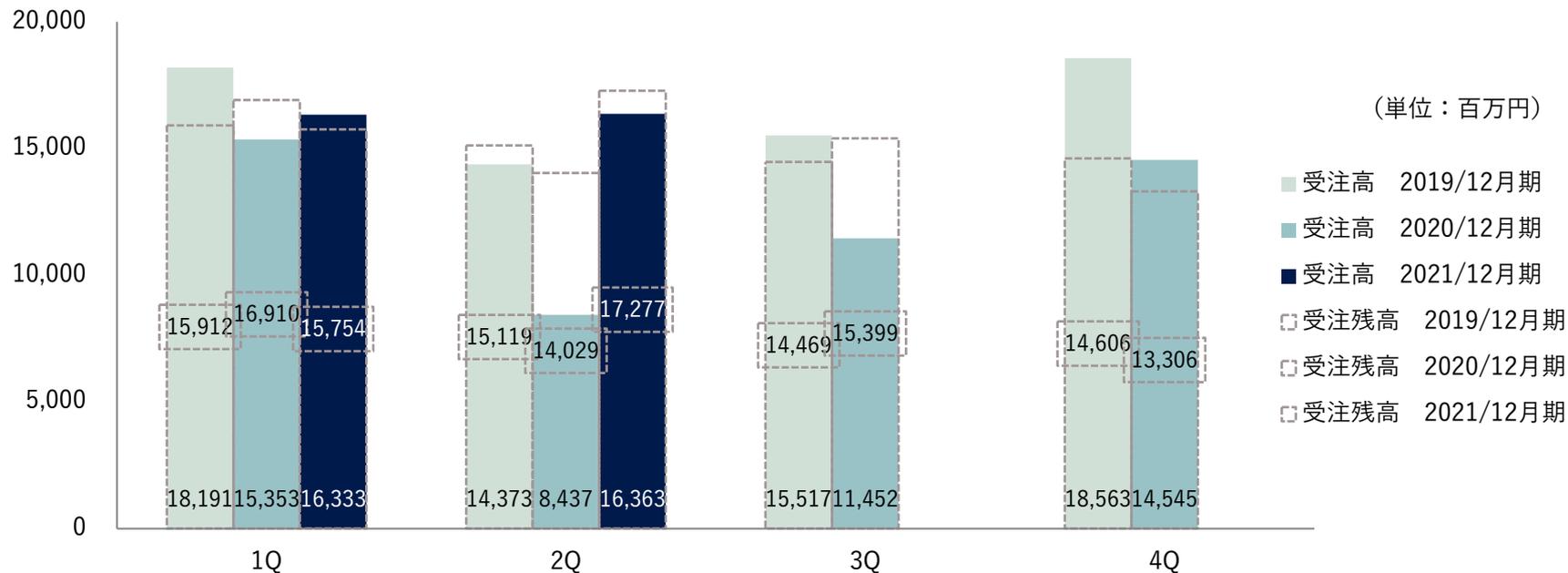


四半期別売上高推移

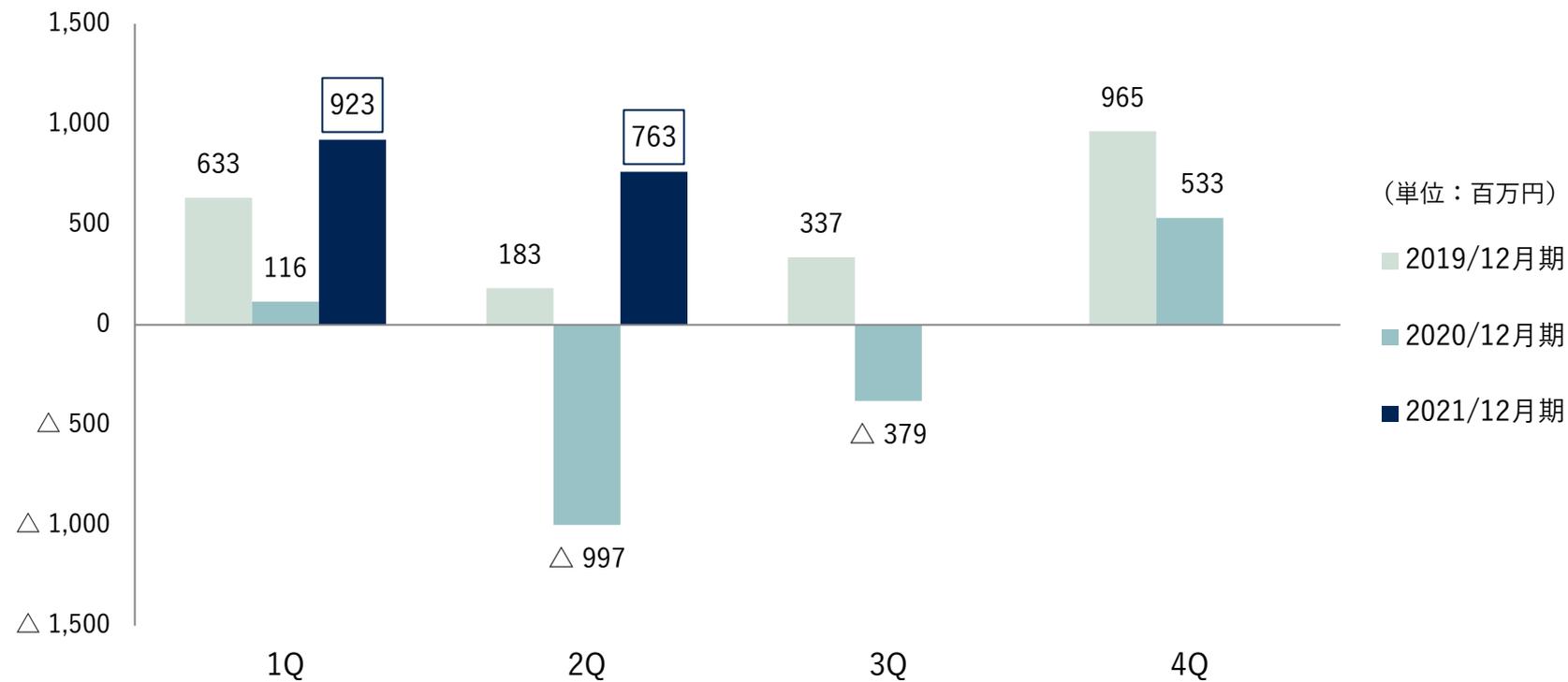


四半期別受注高・受注残高推移

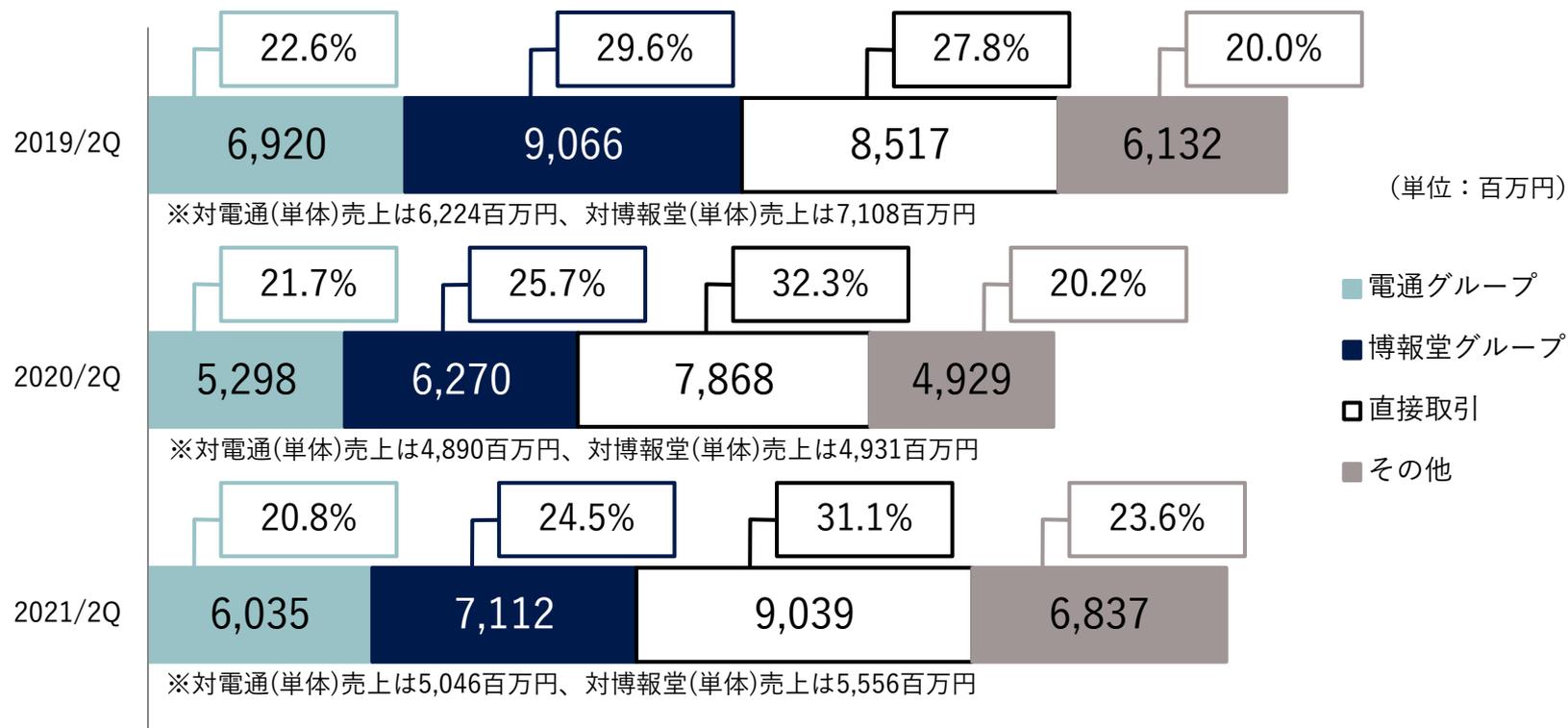
- 上期の受注高はコロナ前の水準に戻る
- 2Q末の受注残高は、17,277百万円（前年同四半期末比23.2%増）



四半期別営業利益推移



顧客別売上高



連結貸借対照表サマリー

単位：百万円	2020年12月期	2021年12月期 2Q	主な増減要因
流動資産	33,014	37,799	現金及び預金+5,787、受取手形及び売掛金△1,251、電子記録債権+484
固定資産	15,667	15,354	
資産合計	48,682	53,154	
流動負債	14,743	20,275	買掛金△1,330、短期借入金+6,500
固定負債	13,707	11,892	長期借入金△1,784
負債合計	28,451	32,168	
純資産合計 (総資産に対する比率)	20,231(41.6%)	20,986(39.5%)	利益剰余金+604
負債純資産合計	48,682	53,154	

2. 株式会社併合について

株式併合の概要

- 当社株式を非公開化するための手続の一環として、株式併合を実施予定
- 当社普通株式3,900,000株を1株に併合
- 当社の株主はスタジオ・クルーズ株式会社のみとなり、上場廃止となる見込み

日程	
2021年9月7日（火）	臨時株主総会開催日
2021年9月7日（火）	東京証券取引所における当社株式の整理銘柄指定日
2021年9月27日（月）	当社株式の最終売買日
2021年9月28日（火）	当社株式の上場廃止日
2021年9月30日（木）	株式併合の効力発生日

免責事項

当資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおりません。

かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従いまして、実際の業績はこの資料に記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、この資料の開示後において、かかる将来予想に関する記述を更新して義務を負うものではありません。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
お問い合わせ窓口 (<https://aoityo.com/ja/contact.html>)